

# デパートにいた中国人親子

9takaaki

私が子供のころ、20年くらい前のこと。

田舎なので外国人なんて見たことが無かった。

しかし、港町でよく外国の船が停泊している地域なので、小さいころは行ってはいけない場所みたいなものはあった。

小さかったし臆病でもあったのであまり遠くには行かなかったし、町の中心地まで外国人が来ることもなかった。

20歳くらいまでは本当に外国人を見たことが無かった。

10年位前から中国を中心に台湾、韓国、タイなどの東南アジア人の観光客が増え始めて、最近では外国人がいて当たり前くらいになった。

特に町の中心地、駅前なんかは半分くらいは外国人ってくらいに増えた。

私は外国人観光客が嫌いだ。

図々しいとか、団体で道いっぱい広がって歩いたりとか、あっちこっちの風景、建物なんでもかんでも

スマートフォンでデジカメで取りまくって、気を使って道を譲って歩かないといけないなど日本をレイプされているようで自分がレイプされているようでイライラする。

日本人は見下されていると思う。

なんでもかんでも笑顔で答えてあげて、看板も中国語、韓国語、ロシア語、英語が必ず表記されるようになった。

どこまで迎合するのか。

自分を日本を安売りするのか。

それでも私がデパートで見たことは

中国人の親子が買い物をしている風景。

子供は8歳くらい、母親は35歳くらい。

子供は大きな声で何かを言いながらそこらへんを走ったり、母親に話しかけたりしていた。

母親は、カートを押して右を見て左を見ていた。

カゴの中には何も入っていなかったし入れている様子はなかった。

ただ商品を吟味しているだけのように見えた。

その姿が、私には田舎から出てきて都会に驚いて辺りを見渡しているように見えて気持ちが和んだ。

東南アジア人のファッションがダサイ。

それが余計に田舎臭さをかもし出していた。

私の記憶の中では、子供ってのは大きな声を出してそこらへんを走り回っているもんだと。

中国人の子供もまったくそれと同じに見えた。

中国人だろうが日本人だろうが、人間はそんなもんなんだと思った。

変わらないんだなと思ったらなんだかその中国人の親子が愛らしく見えて感動した。

人間は馬鹿なんだ。

中国人が日本のデパートで吟味しているその商品は中国製だ。

中国では売ってないかもしれないが、わざわざここに来て買うようなものは何も無い。

田舎に住む日本人も都会に出てきて都会の風景に圧倒されるかもしれないが

そんなものはたいしたことないし都会じゃないと売ってないものもたいしたものではない。

しかし、人間はそういったものを不思議がったり面白がったりする。

それを楽しむ。

本人は気づいていない自分が今楽しんでいることを。

私はそれをちょっと離れたところから見て、彼らが今どんな気持ちでいるのかを創造する。

「おおっ！これはなんだ。」「へえー、面白いなあ。」とか言いながら人間らしく生きているんだなあと思う。

それだけで涙が流れてしまう。